

子どもと楽しむ絵本

●赤ちゃん絵本

シンプルな絵に、やさしい言葉の繰り返しやオノマトペの響きが耳に心地よく、赤ちゃんと一緒に楽しむことができます。

だるまん七変化？！

おなじみ「だるまんが」の後は・・・おかしな動きとかわいい表情で楽しさいっぱいです。

●だるまんが かがいひろし／作
ブロンズ新社

●ぴよーん まつおかたつひで／作・絵
ポプラ社

●くだもの 平山和子／作 福音館書店

●くっついた 三浦太郎／作・絵 こだま社
→愛知の絵本作家 (p8)



●ものがたり

昔なつかしい物語には、ドキドキやワクワク、ほっこりがたくさん詰まっています。

「だいじょうぶ、だいじょうぶ」

この言葉をつぶやくと、心が落ち着きます。この絵本を読むと心が和みます。

●こんとあき 林明子／作 福音館書店



●ぐりとぐら 中川李枝子／作 大村百合子／絵 福音館書店

●すてきな三にんぐみ トミー＝アングラー／作 いまえよしとも／訳 偕成社

●大型絵本

子どもたちを集めて絵本を読み聞かせる「おはなし会」では、大型絵本が活躍します。通常版の約4倍の大きさ！迫力満点です。



●はらぺこあおむし ビッグブック
エリック・カール／作 もりひさし／訳
偕成社 42×58cm

●はらぺこあおむし 改訂新版
エリック・カール／作 もりひさし／訳
偕成社 22×31cm

読み聞かせに挑戦！

絵本の読み聞かせは、子どもたちに幸せな時間を与えてくれるばかりでなく、読み聞かせる大人も楽しいひとときを過ごすことができます。

これらの本を参考にあなたも始めてみませんか？

それに、声に出して物語を読むと、おなかを使うので運動にもなるんです！



●読み聞かせわくわくハンドブック
家庭から学校まで
代田知子／著 一声社

絵本の選び方・読み方から、おはなし会の企画・運営方法まで、ノウハウがギュッと詰まった一冊です。



●えほんのせかい
こどものせかい
松岡享子／著
日本エディタースクール出版部

●かならず成功する
読みかせるの本
赤木かん子／著
自由国民社

●コラム 長〜く愛されてきた絵本たち

絵本には、誕生から50年たった現在でも色あせず読み続けられているものがたくさんあります。長年読み継がれているうちに、時代に合わせて変化してきた作品も。

例えば『ひとまねこざる』の初版(1954)と改版(1998)を比べてみると、本文は縦書きから横書きに、翻訳も「うどん」が「スパゲッティ」に、「しよどう」が「レストラン」に、「ビルジング」が「ビル」に変わっています。昔読んだあの本と同じ絵本に見えても、実は中身がちよっと変わっているかもしれませんよ。



発行から
63年

●ひとまねこざる 改版
H.A.レイ／文・絵
光吉夏弥／訳
岩波書店 1998
(初版:1954)



発行から
58年

●きかんしゃやえもん
阿川弘之／文
岡部冬彦／絵
岩波書店 1959



発行から
52年

●てぶくろ
エウゲーニー・M・
ラチョフ／絵
うちだりさこ／訳
福音館書店 1965



発行から
51年

●ぐるんぱの
ようちえん
西内ミナミ／文
堀内誠一／絵
福音館書店 1966



発行から
50年

●だるまちゃんと
てんぐちゃん
加古里子／作・絵
福音館書店 1967